

茨城県立佐和高等学校進路指導部
平成29年6月20日号

「成功よりも失敗に学ぶことの方が多い」「準備がいかにか大切か」

3年に1度の佐和高祭も大盛況に終わりましたが、みなさんのクラス・団体、そして一人の佐和高生としていかがでしたか？ 充実感や達成感がありますか？ 連帯感は深まりましたか？ 予定通りにうまくいったこともあれば、計画通りにうまくいかなかったことも想定外のこともあったのではないのでしょうか？ 少なくとも「準備（練習）がいかに大切か」ということはほとんどのみなさんが実感できたのではないかと思います。今回の佐和高祭を通して、成功から学んだことはもちろん、「もっと・・・しておけばよかった」など失敗から学んだこともたくさんあるはずです。それらをこれからの学校生活・部活動・進路選択・テスト勉強などさまざまな面で生かしてってください。

[illegible]

2018年入試はこうなる

※2年生、1年生は2年後・1年後を見据えて入試動向の情報を「継続的」につかむようにしてください

- ◇ **大学受験生は66.2万人で1.5%減少の予測**
 - ◇ **大学の定員管理の厳格化**（主に都市の大規模私立大学の入学定員超過に対する抑制）により合格者の絞り込みが継続する
 - ※安倍政府は「地方創生」のためには、地方の若者が都会の大学に行ってしまい、地方に戻ってこないという状況を改善したいと考えているようです
 - ◇ 受験生の「早く、確実に」合格したい安全志向と、私立大学の合格者絞り込みが作用。募集枠の拡大もあり、**推薦・AO入試の志願者増加**が見込まれる
 - ◇ 2017年と同様、定員超過分の確保を見込んだ定員を増やす私立大学が、大都市で続出しそう。
 - ◇ 将来の入試改革を見据え、**「思考力・判断力・表現力」を問う**出願が増加する。よって入試科目に、**小論文・面接や記述式問題を課す**傾向が強まる。
 - ◇ 同じく「**多面的・総合的な評価**」を重視する方向性から、推薦・AO入試の導入・拡大が続く。
 - ◇ 国公立大学・私立大学ともに、**英語外部検定試験の入試への利用が進む**。右ページ「出願資格」・「得点換算」・「加点」など利用方法はさまざま。
 - ◇ 一般入試を中心に、私立大学の受験料割引、併願割引、特待生制度など、経済面の支援による、同大学内の併願をねらった方策の拡充が続く。
 - ◇ **インターネット出願**の導入は私立大学の過半数を超え、今後は国公立大学での導入も増える。**私立大では、全面ネット出願化（紙の願書を廃止するペーパーレス）が加速**。
 - ◇ 文系人気が続く見込みだが、工学・農学系も根強い人気で、志望動向は文理均衡か
- 【 旺文社 Keisetsu Press より 】

大学入試における「英語外部検定利用入試」って何？



① 社会のグローバル化

訪日外国人旅行者の増加など、国内外どこにいても外国人の存在が身近に



② 大学のグローバル化

グローバル社会に適応する英語力を育成
するため、留学や All English での授業
など、教育内容が改革される



③ 入試のグローバル化

教育を受けるだけの基礎力があることを
見極めるため、「英語外部検定利用入試」
が導入される

そこで導入されたのが「英語外部検定利用入試」です。佐和高のみなさんに身近なところで具体的に言うと**実用英語技能検定**です。ほかにも GTEC、TOEIC、TEAP などがあります。英語 4 技能が測定できるこれらの民間の検定を事前に受験させ、そのスコアを出願資格や書類審査に用いたり、得点換算で例えば**英検 2 級は 90 点、準 2 級は 80 点とみなす**などの新しい入試の方法です。英語外部検定入試は実質 3 年目で課題はあるものの、今後多くの大学で広がっていき、英語が得意な高校生にとってアドバンテージになると言われています。

英検は、6 月、10 月、1 月の年 3 回チャンスがあります。3 年生 6 月までに準 2 級、できれば 2 級を取れるように挑戦してみませんか。

【ベネッセマナビジョン参照】

7月の進路行事

※変更の場合あり

7月	1日	(土)	ベネッセ総合学力記述模試（3年生希望者）
	3日	(月）	～就職求人票受付開始
	4日	(火)	看護医療系希望者ガイダンス（3年生希望者）
	5日	(水)	2年生 大学模擬授業⑤⑥
	6日	(木)	ベネッセ総合学力テスト（1・2年生全員）
	21日	(金)	指定校推薦希望者保護者説明会（3年生）
※	26日	(水)	ハローワーク就職ガイダンス
	夏休み		一日看護体験（希望者）